

2024年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	日本語4 (Japanese 4)		
ナンバリングコード	A10708 B10808	大分類 / 難易度 科目分野	教養基礎(教育)科目 / 基礎レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	1年 / 1年後期・2年前期
必修・選択区分	必修(留学生) ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	A023352	クラス名	-
担当教員名	古川 俊雄		
履修上の注意、履修条件	●「日本語4」は留学生対象科目(必修)です。履修する際は「日本語3」と合わせて履修登録して下さい。 ・後期開講「日本語4」は能力別に2クラス、前期開講「日本語4」は1クラス編成で行います。 ・指定された教科書は必ず購入してください。購入していない学生は受講を認めません。 ※なお、「日本語4」は日本語能力に応じて単位認定ができます。→「成績評価の補足」参照		
教科書	・『N1読解スピードマスター』(Jリサーチ出版) ※必ず購入してください。		
参考文献及び指定図書	・『N1聴解スピードマスター』(Jリサーチ出版)		
関連科目	日本語1、日本語2、日本語3		

○基本情報			
授業の目的	・講義を聞いて理解できるようになるとともに、学部での諸活動が日本語を用いてスムーズに行えるように するため、読む力と聴く力の両面から総合的なスキルアップを図る。 ・課題の文章を読んだり聞いたりして、内容を理解し、必要に応じて他の表現で言い換えたり、要約したり、 感想や意見を述べたりできる力を身につける。		
授業の概要	・クォーター制で授業は週2回あります。 ・毎回、読解と聴解の問題練習を行い、日常生活および大学での学習・研究生活に必要な語彙・文型・表現を 理解し、運用する力の増強を図ります。 ・日本語によるコミュニケーション力を身につけるため、学習課題と関連するテーマや話題についての 発表 や質疑応答の練習を行います。 ・必要に応じて、漢字・語彙練習や実践的な日常会話・ビジネス日本語の運用練習等も実施します。		
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習形式」	
	(2) 複数担当の場合の方式	「複数クラス方式」	
	(3) アクティブ・ラーニング	「プレゼンテーション」	
地域志向科目	該当しない		
実務経験のある教員による授業科目	該当しない		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	自分の日本語力の課題を把握し、継続的に日本語力の向上に取り組むことができる。また、生活におけるあらゆる場面において、日本語を用いてコミュニケーションができる。		10点	
【知識・理解】	日常生活に必要な語彙や表現が理解できる。また、大学での学習・研究活動に必要な一般的、専門的な語彙や表現も理解できる。	40点		
【技能・表現・コミュニケーション】	日本の生活において報告や連絡、相談といった必要なコミュニケーションを日本語で行うことができ、問題が生じた場合も日本語で解決することができる。	20点	10点	10点
【思考・判断・創造】	身近な話題から専門に関する話題まで、さまざまな話題について概要を理解し、要点をまとめたり、根拠・理由とともに自分の意見・感想を述べたりすることができる。	10点		

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
・成績については、次の3つを評価の対象とします。 ①期末試験の結果 ②課題の提出 ③授業への取り組み姿勢	
■<日本語能力試験(JLPT)等合格者に対する単位認定> 下記の基準のいずれかを満たす場合、担当教員に申し出るにより「日本語3」及び「日本語4」の単位認定が受けられます。 ※ただし、原則として授業には参加してください。 ●基準1 日本語能力試験(JLPT)のN2またはN1合格の場合、N2合格は「B」、N1合格は「A」 ●基準2 JLTESTのA-Cレベル(1000点)を受験した場合、600点~699点は「B」、700点以上は「A」	

○その他	
<履修および単位認定等について> ●「日本語4」は留学生の必修科目です。 ・留学生は全員、「日本語1」から順に「日本語2」「日本語3」と受講してください。※編入学の場合については個別に判断します。 ・「日本語3」と「日本語4」を合わせて履修登録してください。 ・「日本語1」「日本語2」のどちらとも単位取得できていない場合、「日本語3」「日本語4」を履修することはできません。注意してください。	
<欠席・遅刻などについて> ・6回以上欠席した場合は評価を受けられません。 ・20分以上の遅刻や理由のない途中退出、授業中の指示や注意に従わず、3回以上注意を受けた場合は退出させた上で欠席とします。	

2024年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	日本語4 (Japanese 4) 古川 俊雄	授業コード	A023352
<b>学修内容</b>				
<b>1. 日本語能力チェック</b> テストをして現在の日本語力をチェックします。				
予習	日本語3の学習内容について復習			約3時間
復習	教科書 pp. 10~16 ウォーミングアップ キーワードを覚えよう			約1時間
<b>2. 読解・聴解練習</b> 読解課題 内容理解(短文) 聴解課題 課題理解 ※語彙・漢字課題				
予習	教科書 pp. 18~20			約2時間
復習	オンライン課題ほか			約2時間
<b>3. 読解・聴解練習</b> 読解課題 内容理解(短文) 聴解課題 課題理解 ※語彙・漢字課題				
予習	教科書 pp. 21~23			約2時間
復習	オンライン課題ほか			約2時間
<b>4. 読解・聴解練習</b> 読解課題 内容理解(短文) 聴解課題 課題理解 ※語彙・漢字課題				
予習	教科書 pp. 24~27			約2時間
復習	オンライン課題ほか			約2時間
<b>5. 読解・聴解練習</b> 読解課題 内容理解(中文) 聴解課題 課題理解 ※語彙・漢字課題				
予習	教科書 pp. 28~31			約2時間
復習	オンライン課題ほか			約2時間
<b>6. 読解・聴解練習</b> 読解課題 内容理解(中文) 聴解課題 課題理解 ※語彙・漢字課題				
予習	教科書 pp. 32~35			約2時間
復習	オンライン課題ほか			約2時間
<b>7. 読解・聴解練習</b> 読解課題 内容理解(中文) 聴解課題 課題理解 ※語彙・漢字課題				
予習	教科書 pp. 36~39			約2時間
復習	オンライン課題ほか			約2時間
<b>8. 確認テスト</b> ここまでの学習内容について確認するテストを行います。				
予習	これまでの学習内容について復習			約2時間
復習	オンライン課題ほか			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	日本語4 (Japanese 4) 古川 俊雄	授業コード	A023352
<b>学修内容</b>				
<b>9. 読解・聴解練習</b> 読解課題 内容理解(長文) 聴解課題 課題理解 ※語彙・漢字課題				
予習	教科書 pp. 40~43			約2時間
復習	オンライン課題ほか			約2時間
<b>10. 読解・聴解練習</b> 読解課題 内容理解(長文) 聴解課題 課題理解 ※語彙・漢字課題				
予習	教科書 pp. 44~45			約2時間
復習	オンライン課題ほか			約2時間
<b>11. 読解・聴解練習</b> 読解課題 統合理解 聴解課題 課題理解 ※語彙・漢字課題				
予習	教科書 pp. 46~51			約2時間
復習	オンライン課題ほか			約2時間
<b>12. 読解・聴解練習</b> 読解課題 主張理解(長文) 聴解課題 課題理解 ※語彙・漢字課題				
予習	教科書 pp. 52~55			約2時間
復習	オンライン課題ほか			約2時間
<b>13. 読解・聴解練習</b> 読解課題 主張理解(長文) 聴解課題 課題理解 ※語彙・漢字課題				
予習	教科書 pp. 56~57			約2時間
復習	オンライン課題ほか			約2時間
<b>14. 読解・聴解練習</b> 読解課題 情報検索 聴解課題 課題理解 ※語彙・漢字課題				
予習	教科書 pp. 58~63			約2時間
復習	オンライン課題ほか			約2時間
<b>15. 期末試験1</b> 筆記試験(全クラス共通問題)				
予習	これまでの学習内容について復習(読解問題)			約3時間
復習	これまでの学習内容について復習(語彙、文法)			約1時間
<b>16. 期末試験2</b> 口頭試験または聴解試験				
予習	これまでの学習内容について復習(読解問題、聴解問題)			約4時間
復習				